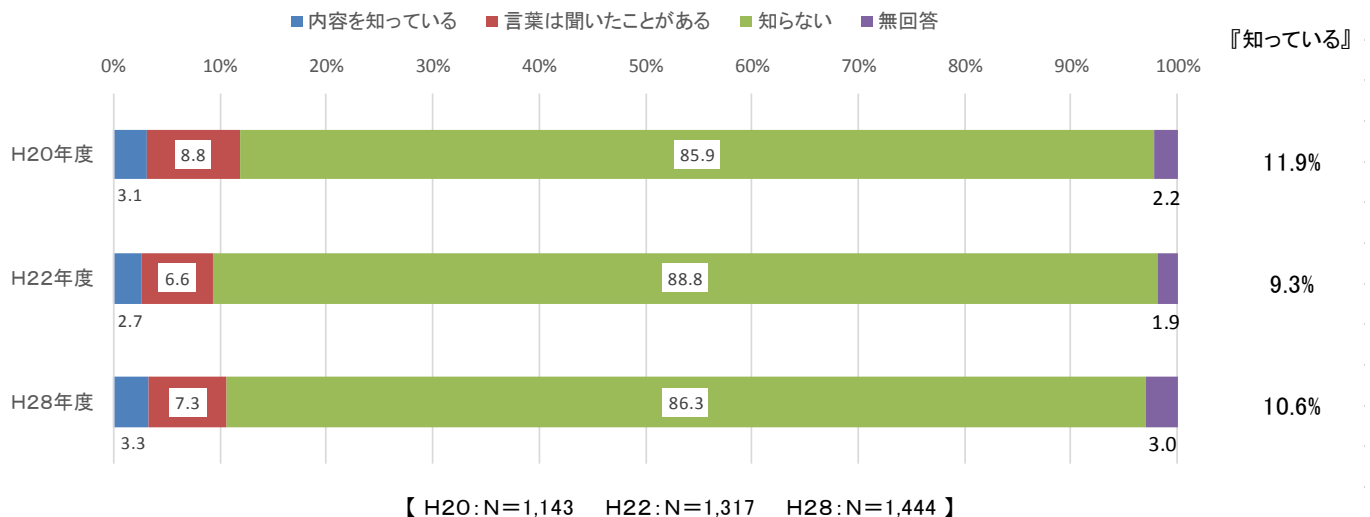


問 17. 「総合型地域スポーツクラブ」の認知度（SA）

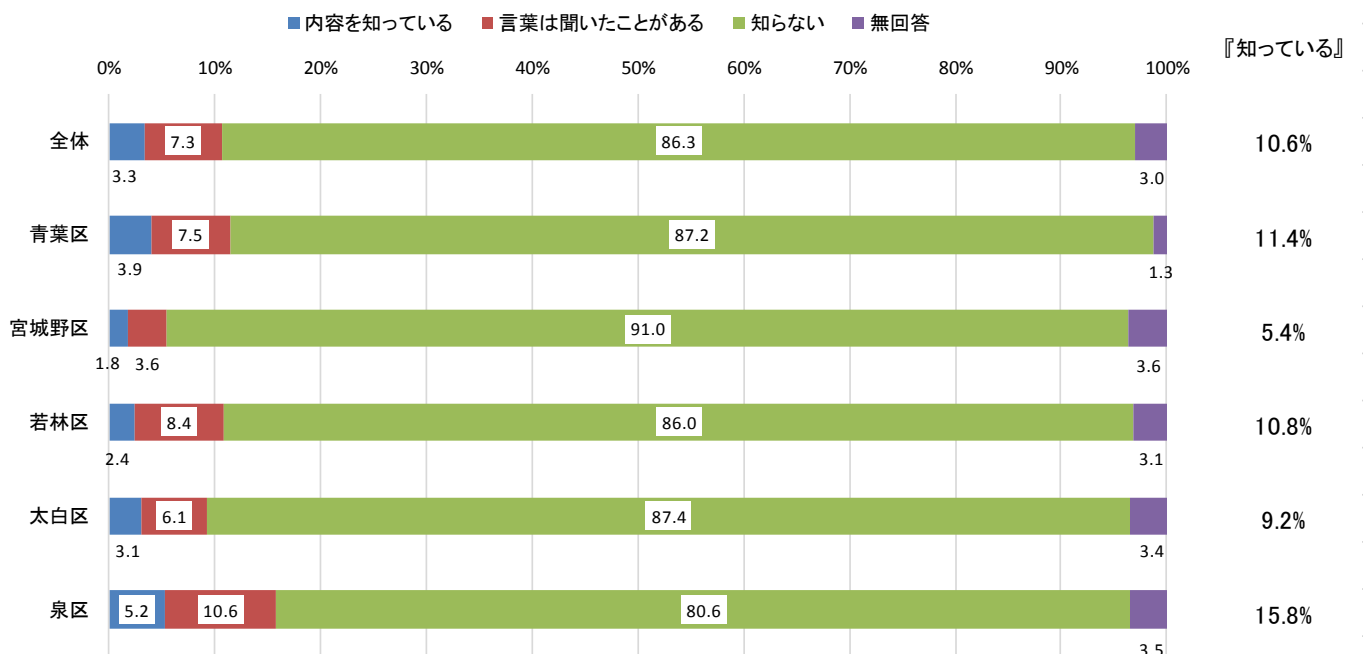
■ “知っている” は1割にとどまる
 ■ 実施年度による認知度の差はほとんど見られない

- “知っている”（内容を知っている＋言葉は聞いたことがある）は、実施年度ごとの差はほとんど見られず、今回（計 10.6%）を含めたいずれの実施年度も1割程度の認知度にとどまっている。
 ○ ごくわずかな数値差ではあるが、今回「内容を知っている」が過去最高の数値となっている。
 （H20年度：3.1%・H22年度：2.7%・H28年度：3.3%）



「総合型地域スポーツクラブ」の認知度 ～ 居住区別の比較 ～

- 居住区別に見ると、“知っている”は泉区（計 15.8%）で高い。逆に「知らない」は宮城野区で9割を超えており（91.0%），“知っている”は5%ほど（計 5.4%）で全5区中最少となっている。

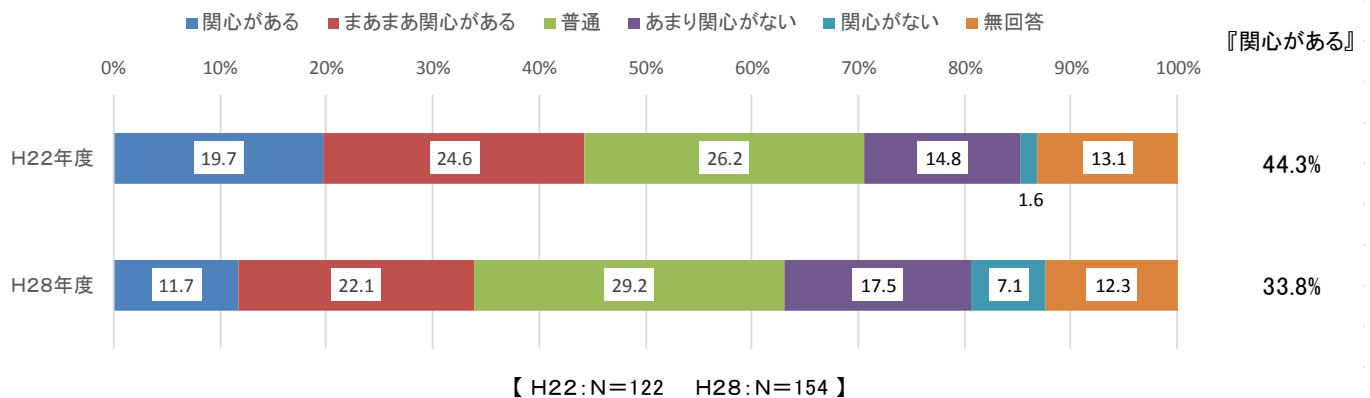


問 18. 「総合型地域スポーツクラブ」への関心度合い（S A）

■ 今回の「関心がある」は前回より1割低下。「関心がない」が回答者の1／4を占める

○ 今回の“関心がある”（関心がある＋まあまあ関心がある）は、前回（H22年度：計44.3%）より1割ほど低下している（計33.8%）。

○ 一方“関心がない”（あまり関心がない＋関心がない）は、前回（H22年度：計16.4%）から増加。回答者の1／4（計24.6%）が“関心がない”と回答していることになる。



問 19. 「総合型地域スポーツクラブ」への今後の参加意向（SA）

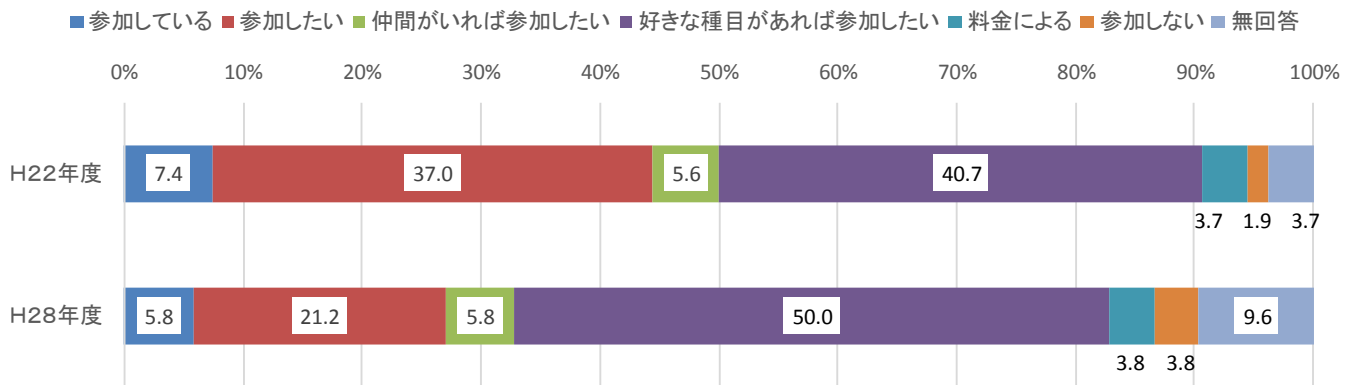
■「参加したい」は大幅減。一部の“条件付き参加層”が増加

※前回（H22年度）、今回とも、サンプル数が非常に少ないため、単純に年度別数値の比較・分析はできない。

○今回の「参加したい」（21.2％）は、前回（H22年度：37.0％）に比べ15ポイント以上的大幅減となっている。

○仲間、種目、料金など、“条件付きでの参加”の意向を持つ層のうち、今回は「好きな種目があれば参加したい」が前回に比べ10%ほど増加している（H22年度：40.7％・H28年度：50.0％）。

○割合的には少ないが、今回の「参加しない」は前回の倍の割合となっている（H22年度：1.9％・H28年度：3.8％）。



【 H22:N=54 H28:N=52 】